

7

性的マイノリティの人権

多様な性のとらえ方

1 対象
中学生

2 ねらい

事例をもとにした話し合い活動をとおして、性のありようは多様であることを知るとともに、そうしたお互いの違いを認め合いながら、他者と共生していこうとする姿勢を育む。

3 準備するもの

○ワークシート

○レインボーフラッグ（カラー版）…拡大写真やプロジェクターで画像を映せるように準備しておく。

4 解説

学校教育における「性の多様性」についての考え方として、平成28年に文部科学省より通知された「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」によれば、「他者の痛みや感情を共感的に受容できる想像力等を育む人権教育等の一環として、性自認や性的指向について取り上げることも考えられるが、その場合、特に義務教育段階における児童・生徒の発達の段階を踏まえた影響等についての慎重な配慮を含め、上記の性に関する教育の基本的な考え方や教育の中立性の確保に十分な注意を払い、指導の目的や内容、取扱いの方法等を適切なものとしていくことが必要である」と示されている。

本実践においても、「性の多様性」の理解について、事例を単発的に実践するのではなく、生徒の発達段階をふまえた上で取り組むことで、深い理解につなげたい。

5 進め方（展開例） 50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（8分）</p> <p>「共通点」</p> <ol style="list-style-type: none"> 2人組を作り、自己紹介をする。 お互いに共通する事柄を3つ探す。 例) 血液型、ペットを飼っている、趣味など 4人組になって共通点を探す。 グループで活動の感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを簡単に説明する。 〔P4「学習を進めるにあたって」の内容〕を生徒に伝える。 4人程度のグループで行う。 時間を制限して、お互いのコミュニケーションを促す。 まとめをする。 <p>・お互いの共通点を見つけることで、相手への親近感を持つ。 ・お互いに共通点だけではなく、違いも多いということに気づく。</p>	
展開 30分	<p>◆アクティビティ（30分）</p> <p>「多様な性のとらえ方」</p> <ol style="list-style-type: none"> レインボーフラッグのカラー写真を見ながら説明を聞き、複数の色があることにはどのような意味があるのか各自で考え、ワークシートに記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配付する。 レインボーフラッグはLGBTの尊厳や社会運動の象徴であることを説明する。複数の色があることに気づかせ、色の意味について考えさせる。 数名に記入した内容を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート レインボーフラッグ（カラー版）

展開 30 分	<p>②レインボーフラッグの色の意味を聞き、性の多様性に気づく。</p> <p>③セクシュアリティの4要素をもとに性の多様性について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「性」は多様なものであり、一つひとつははっきり分けられるものではないことを、虹のグラデーションを模して表していることなどを伝える。 	
	<p>④セクシュアリティは様々に考えられていることの説明を聞く。</p> <p>⑤遠藤まめたさんの著書（抜粋）を読む。</p> <p>⑥遠藤さんの感じていた苦しさについて各自で考えワークシートに記述する。</p> <p>⑦学校や社会の中で、心と身体の性別に違和感をもたないことが前提となっていることには、どのようなものがあるか各自で考えワークシートに記述する。</p> <p>⑧⑦をもとに、グループで話し合う。</p> <p>⑨グループで話し合った内容について全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> その人自身の「性のありよう」を「セクシュアリティ」といい、人間一人ひとりの人格を形成する上で不可欠な要素であることを知る。 「心の性 : 自分自身で認識している性のこと」 「身体の性 : 生まれもった身体の性のこと」 「好きになる性 : 恋愛や性愛の対象となる性のこと」 「表現する性 : 服装や性格、趣味や振る舞い方などで表される性のこと」 <p>セクシュアリティの4つの要素について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの要素は、「男性」と「女性」の2つに分けて考えられがちであるが、現実には明確に「男性」と「女性」の2つに分けることはできないものであることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> 性自認と性的指向について説明する。 文中の「気に入らない」、「耐えがたい」「苦痛」といった言葉に着目させる。（例：何に対してかなど） どんな発言についても否定せずに認め合うことを指導する。 	
まとめ 10 分	<p>◆まとめ（10分）</p> <p>①様々なセクシュアリティの人も安心して生活するために、私たちにできることを考えて記述し、グループで共有する。</p> <p>②まとめの話を聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談をする時間を設け、全員が考えることを促す。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 性のありようは実際には一人ひとり違っており、多様であること、そして、その多様性を認めた上で、お互いに尊重することが大切である。 すべての人が安心して生活できる環境や社会をつくる意識を、一人ひとりが持つことが重要である。 	

<参考資料など>

「平成28年度新たな人権課題に対応した指導資料」 埼玉県教育局市町村支援部人権教育課（平成29年3月）

多様な性のとらえ方

()年()組()番 名前_____

- 1 右の画像は、LGBT の象徴であるレインボーフラッグと呼ばれているものです。どのような意味をもって虹を模して作られたかについて考え、次の枠内に書きましょう。



- 2 セクシュアリティを便宜上、4つの要素に分けて考えてみましょう。

- ①< の性>…自分自身の性別をどう認識しているか
- ②< の性>…生まれもった身体の性のこと
- ③< 性>…恋愛や性愛の対象となる人の性
- ④< 性>…服装や性格、趣味や振る舞い方など

①～④の4つの性は、「男性」と「女性」の2つに分けて考えられがちであるが、現実には明確に「男性」と「女性」の2つに分けることはできないものである。

- 3 様々な考えられているセクシュアリティ

●性自認について

トランスジェンダー	<こころの性>に対し<性>に違和感をもち、出生時と異なる性別で生きようとする人たちの総称。 ※「性同一性障害」や「性別違和」は診断名。
シスジェンダー	<こころの性>に対し<性>に違和感をもち、出生時の性別のまま生きようとする人たちの総称。

●性的指向について

ホモセクシュアル	<こころの性>に対し好きになる性>が同性であること。
ヘテロセクシュアル	<こころの性>に対し好きになる性>が異性であること。
バイセクシュアル	<好きになる性>が同性の場合も、異性の場合もあること。
アセクシュアル	他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かないこと。

4 次の文章は、トランスジェンダー当事者としての体験をきっかけに、LGBTの方の支援に関わっている遠藤まめたさんの著書から抜粋したものです。

「ひょっとしたら、自分は将来アシをはくハメになるのではないか……」。小学校低学年の頃から、うすうすと中学校の「制服」の存在に気づいていた私は、天敵であるスカートをなんとか回避するために、私服の中学を目指していた。しかし、結局受かったのは、中高一貫の女子高。しかも「セーラー服」という大きなオマケがついていた。

<中略>

泣いても笑っても、思春期の身体は変化していく。変化していく体のラインが、どうにも気に入らない。中学三年生になった頃、学校の廊下を歩いているときに、ふと「このままいったら、自分には『女の人生』しか残っていないんじゃないか」と気がついた瞬間があった。すると、目の前がぼかんと真っ暗になった。

<中略>

スカート姿の自分を見ると、目にレーザー光線が当てられたみたいに痛かった。大学受験の模試の性別欄「男・女」にマルをするのも、耐えがたかった。

<中略>

人生で最大の悲劇とは、それが悲劇とさえ周囲に見なされないようなものだ。もしも私が街で殴られていたら、きっと誰かが「なんてひどいことを」と言い、助けてくれたことだろう。ところが、私が毎日セーラー服を着ていることは、まわりの人々にとってはたんなる「日常風景」だった。自分にとっては、殴られるのと変わらないのに。まわりにとっては当たり前すぎることで苦痛を感じているのだから、これほど苦しいことはない。

遠藤まめた 著『オレは絶対にワタシじゃない-トランスジェンダー逆襲の記』（はるか書房）より

① 遠藤さんの感じていた苦しさは、どのようなものだったのでしょうか。

② 学校や社会の中で、心と身体の性別に違和感をもたないことが前提となっていることには、どのようなものがあるのでしょうか。

③ 様々なセクシュアリティの人が、ともに安心して生活するために、私たちにできることはどのようなことでしょうか。